

令和2年度 事業報告

協会が策定した「第四次中期経営計画」（平成29年度～令和3年度）、「社会福祉充実計画」（平成29年度～令和3年度）及び施設の管理運営方針に沿って、実施事業である就労移行支援、就労継続支援及び生活介護支援において、より質の高いサービスを提供してきた。

就労移行支援事業は、利用者が作業を通し社会人としての職場マナーや心構えを学ぶとともに、就労に対する意欲の向上を図る支援を行った。また、ハローワークや就業・支援センターとの連携のもと企業等の協力を得て、利用者に施設外実習を提供した。

就労継続支援事業は、前年度額を上回る工賃の支給を目標に生産活動を行ってきたが、コロナの影響等により関係協力企業からの受注量が減少したため、前年度の工賃支給額には及ばなかった。今後も引続き、単価の高い効率的な作業種目の開拓や新たな自主製品の開発等に努め、工賃向上に向け努力する。

生活介護支援事業では、日中活動として生産活動の他、菜園での季節野菜の栽培や運動訓練を提供した。生活上の衛生面については、建物内の除菌清掃等を毎日実施することで感染症対策に万全を期した。また、週2回作業療法士により、日常生活をスムーズに送るための訓練を強化してサービスの充実を図った。一方、障害の多様化による対人関係等のトラブルへは、個々の面談時間を設け、傾聴や受容等の支援を行い、利用者の心の安定を図った。同時に、施設内の自己評価及び虐待防止等について委員会機能を充実させ、コンプライアンスの徹底を図るとともに、利用者の人権や主体性を大切にしながら良質かつ適切なサービスの提供に努めた。

施設入所事業、短期入所事業では、利用者が安心して安全で快適な施設生活を送るための支援を行うとともに、地域で暮らす障害者やその家族からのニーズに対し可能な限り応えるよう配慮した。

施設設備については、県営繕工事で行った自動火災報知設備更新工事の他、新型コロナウイルス対策として、感染発生時対応・衛生用品保管等に柔軟に使える多機能型簡易居室2棟の設置を行った。

地域における公益的な取組みとして、会議室及び南側駐車場を貸し出しを提案しているが、集団となるような機会の減少やイベント等の縮小により、駐車場の貸出が2件のみであった。また、地元住民を対象に施設の案内や福祉体験・スポーツ交流会等を計画をしたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

施設経営面では、収益の向上を図るため、利用者の確保や稼働日数を増やす他、障害状況が重度化した利用者の支援区分の見直し調査等を逐次依頼するなど、きめ細かい取り組みに努めた。また、ホームページにより事業所の事業実施状況等を公表するとともに、ホームページ内のブログによって日々の行事、就労作業及び生活状況の紹介を適宜更新するなど、積極的に情報発信を行い、事業活動の安定化に繋がった。

今年度は、県から示された指定管理施設の民間移管に向けた手続きを計画的に進め、11月県議会において施設移譲を可決、2月には県有財産売買契約書を締結し、4月1日から法人の直営施設とすることができた。

また、感染拡大が続く新型コロナウイルス対策として、国や県の指導に従い、マスクの着用、体調管理の強化、行事や活動の内容変更等を実施し、感染予防対策を講じてきた。

以下この一年の施設運営の概要を報告する。

就労支援事業	就労移行支援事業サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の就労ニーズに応えるため、施設内外での作業訓練と企業見学及び企業での実習を実施した。更に、ハローワーク、障害者就業センター及び御勅使工業団地の協力企業等関係機関と連携して就職に向けた支援に取り組んだ結果、1名の利用者が一般企業に就職した。 ○ 一般企業への就職者に対しては、技能訓練や学習会などを開催する等、職場定着支援を行った。
	就労継続支援事業B型サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の適性を把握したうえで作業種目を決定し、作業の習熟度を高めるとともに、作業の入荷状況に合わせた人員配置等を行い、作業効率の向上に努めた。自主製品（図面袋等）については、ホームページの活用により県内外企業から受注の固定化、継続化に取り組み利用顧客数の安定化に繋がった。しかし、その他作業においては新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、年度当所から数カ月間は受注量が大幅に減少した。 そのため、各協力企業と受注量及び単価調整を行い、新規企業開拓（農業活動）等に努めたものの生産額を伸ばすことができなかった。 (前年比-221,105円) ○ 工賃の算定は、工賃会議において、個々の作業状況に応じた業績点の見直しを行い、適正な評価の精度向上を図った。また、より生産性が望める作業提供に取り組んだが、収入が減少したことにより、工賃は平均時給で前年度を25円下回った。 ○ 多彩な作業科目を設けるため、片手作業用の自助具等の作成を試み、利用者の残存能力を発揮できる環境を整備した。 <p style="text-align: right;">【別紙①-1,2 就労支援実施状況】</p>

生活介護支援事業	日常生活作業活動趣味余暇活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別支援計画に基づき、個々の目標に向けた支援を実施した。 ○ 1日又は半日の選択で生き甲斐としての作業活動を提供し、その対価として工賃を支給した。 ○ カラオケ・創作の他、外部講師（華道・絵手紙・3B体操）による活動の充実を図り、10月に開催された障害者文化展に作品を出品した。 ○ 機能低下や二次障害防止のため、毎日の体操や週に2回（月・木）作業療法士による個別訓練や集団リハ等を実施した。 ○ 定期的な所外活動等が新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかったため、公園や施設の周辺を散歩する内容に変更した。また、少人数での日帰り旅行を実施し、潤いのある生活の提供に心がけた。 ○ 施設敷地内にミニ菜園を作り、ミニトマト、キュウリ、ジャガイモ、サツマイモ、スイカ等を栽培、収穫することができた。また収穫した野菜を使い料理実習を行った。 ○ 寝具類（掛け布団、敷布団、枕）は、毎週水・木曜日にシーツ交換と必要に応じてクリーニングを行うことで、清潔で快適な生活が送れるよう支援した。 ○ 食事以外の間食コントロールが必要な方に対し、適切なおやつ提供を行うことで楽しみとコミュニケーションの場が提供出来た。 <p style="text-align: right;">【別紙② 生活介護 日中活動支援状況】 【別紙③ 統計】</p>
	社会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者が積極的に社会活動に参加できるよう、招待や案内の情報提供を月一回開催の全体集会や掲示板等で積極的に行った。 ○ 活動の一環として、買い物等の外出支援、障害者文化展の見学を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった。
	家族との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ バーベキュー会、懇親会など施設の諸行事にご家族にも参加していただき利用者との交流を図る計画だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止、または利用者のみで実施した。 ○ また、交流の少ない家族については、電話や通知などにより利用者の近況を報告した。 ○ 年度始めにはご家族向けに前年度の事業や施設行事等を掲載した広報誌を配布し、個別面談等を実施するとともに、家族間並びに職員との交流も図った。
在宅障害者支援	短期入所	<p>定期的な利用や比較的長期利用もあり、22人の利用者が延べ1,116日1日平均3.1人の利用をいただき、利用者個々の利用ニーズに応えることができた。また、コロナ禍であることを考慮し、慎重に利用調整を行った。</p> <p>支援にあたっては、利用者の障害や支援状況に応じて利用する居室の場所等を配慮し、安心して生活が送れるよう日中活動メニューや安心・快適な生活空間を提供した。</p>
	日中一時支援	<p>葦崎市が実施する地域生活支援事業の指定を受け、在宅障害者の平日におけるサービス体制を整え、毎週1回1名の受入れを実施した。</p>
	地域福祉との連携	<p>【地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の構成員として、利用者が地域の方々と好ましい関係をつくり、社会参加の促進を図るには、施設の機能を地域に活用していただく等、地域との連携が必要なことから次の事業を計画した。 ① 納涼会(盆踊り会)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。 ② サッカーJ2リーグの招待を受けた。（集団ではなく個人観戦とした） <p>【峡北地域自立支援協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援協議会葦崎通所グループの事業所部会に所属し、事業所間での問題点や福祉を取り巻く制度についての勉強会等に参加した。 <p>【ボランティアの受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 閉鎖的になりがちな入所施設において、ボランティアの受入れは、利用者との相互交流と連携を深める貴重な機会であり、生活のアクセントとしても重要なイベントと捉え、受入れを行った。 <p style="text-align: right;">【別紙④ 見学・ボランティア受入状況】</p>

非常災害時等の安全対策	災害時の安全対策	<p>○ 年間防災訓練計画に基づき、夜間訓練を含め年4回の訓練と専門業者による防災器具の法定点検の他、危険箇所等の自主点検も毎月実施し、職員及び利用者の防災意識を高めるとともに安全で迅速な避難体制の確立を図った。</p> <p><訓練実施状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>訓練内容</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月8日</td> <td>防災訓練（火災）</td> <td>非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他</td> </tr> <tr> <td>9月1日</td> <td>総合防災訓練（地震・火災）</td> <td>非常放送・地震防護措置・避難誘導・消火・救護炊出・施設間の連絡、応援訓練他</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>防災訓練（夜間火災想定）</td> <td>非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他</td> </tr> <tr> <td>3月4日</td> <td>防災訓練（夜間火災・水害想定）</td> <td>非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他 水害時の第1次避難訓練</td> </tr> </tbody> </table>			実施日	訓練内容	備 考	6月8日	防災訓練（火災）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他	9月1日	総合防災訓練（地震・火災）	非常放送・地震防護措置・避難誘導・消火・救護炊出・施設間の連絡、応援訓練他	12月3日	防災訓練（夜間火災想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他	3月4日	防災訓練（夜間火災・水害想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他 水害時の第1次避難訓練																													
	実施日	訓練内容	備 考																																													
	6月8日	防災訓練（火災）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他																																													
	9月1日	総合防災訓練（地震・火災）	非常放送・地震防護措置・避難誘導・消火・救護炊出・施設間の連絡、応援訓練他																																													
	12月3日	防災訓練（夜間火災想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他																																													
3月4日	防災訓練（夜間火災・水害想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他 水害時の第1次避難訓練																																														
利用者の安全対策	<p>○ 事故または事故に繋がる危険性がある行動や問題等に直面した場合、事故インシデント報告及び日誌等により、その内容を速やかに報告するとともに職員朝礼や安全対策会議等により対応策を協議し、情報の共有と再発防止を図った。 インシデントは80件、事故は31件が報告され、主に転倒・誤薬・無断外出であった。</p> <p>○ 外部からの侵入者に対する不審者対応訓練は実施できなかったため、所内研修として、さすまた、防犯スプレー等防犯用品の使用方法を再確認した。</p> <p>○ 緊急時に備えたAED（自動体外式除細動器）等について、新規配置職員2名が施設外で開催された救命救急講習会に参加した。</p>																																															
地域との連携	<p>災害発生時に援護が必要な地域の障害者等の受け入れに関して、<u>葦崎市との「災害時要援護者の福祉避難所の受入に関する協定」に基づく、具体的な受入れ体制の協議及び地元自治会や消防団との協力体制は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で十分な連携までには至らなかった。</u></p>																																															
地域生活移行支援	<p>施設入所者の地域移行を推進するため、本人及び家族の意向の相談受付等の体制はあるが、対象要件に合致する利用者がいなかった。</p>																																															
社会福祉村等との連携	<p>福祉村の施設利用者及び支援学校の生徒が、退所後又は卒業後の利用先の選択肢となれるよう、連携強化と情報提供に積極的に関与した。 また、福祉村内の親睦・交流を図る福祉村まつりの企画・運営を担う立場から、積極的な参画をしてきたが、コロナ禍により中止となった。</p>																																															
地域移行支援	実習生の受入れ	<p>福祉人材養成を目的とした大学等からの社会福祉援助技術現場実習や支援学校生の職場実習先として幅広く受入れ、福祉人材の育成と障害児・者の進路支援機関として積極的に協力した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習依頼先</th> <th>人数</th> <th>期間</th> <th>目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>帝京学園短期大学</td> <td>1人</td> <td>8月18日～9月6日</td> <td>資格取得実習</td> </tr> <tr> <td>わかば支援学校</td> <td>2人</td> <td>9月10日～18日</td> <td>現場(職場)実習</td> </tr> <tr> <td>わかば支援学校</td> <td>2人</td> <td>9月23日～29日</td> <td>現場(職場)実習</td> </tr> <tr> <td>武川中学校1年生</td> <td>14人</td> <td>10月22日</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>あけぼの支援学校</td> <td>1人</td> <td>11月9日～13日</td> <td>現場(職場)実習</td> </tr> <tr> <td>桃花台支援学校</td> <td>1人</td> <td>11月24日～30日</td> <td>現場(職場)実習</td> </tr> <tr> <td>帝京学園短期大学</td> <td>1人</td> <td>11月30日～12月18日</td> <td>資格取得実習</td> </tr> <tr> <td>わかば支援学校</td> <td>3人</td> <td>12月7日～11日</td> <td>現場(職場)実習</td> </tr> <tr> <td>帝京学園短期大学</td> <td>1人</td> <td>2月24日～3月18日</td> <td>資格取得実習</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受入者数</td> <td colspan="2">計12人</td> </tr> </tbody> </table>			実習依頼先	人数	期間	目的	帝京学園短期大学	1人	8月18日～9月6日	資格取得実習	わかば支援学校	2人	9月10日～18日	現場(職場)実習	わかば支援学校	2人	9月23日～29日	現場(職場)実習	武川中学校1年生	14人	10月22日	中止	あけぼの支援学校	1人	11月9日～13日	現場(職場)実習	桃花台支援学校	1人	11月24日～30日	現場(職場)実習	帝京学園短期大学	1人	11月30日～12月18日	資格取得実習	わかば支援学校	3人	12月7日～11日	現場(職場)実習	帝京学園短期大学	1人	2月24日～3月18日	資格取得実習	受入者数		計12人	
	実習依頼先	人数	期間	目的																																												
	帝京学園短期大学	1人	8月18日～9月6日	資格取得実習																																												
	わかば支援学校	2人	9月10日～18日	現場(職場)実習																																												
	わかば支援学校	2人	9月23日～29日	現場(職場)実習																																												
	武川中学校1年生	14人	10月22日	中止																																												
	あけぼの支援学校	1人	11月9日～13日	現場(職場)実習																																												
	桃花台支援学校	1人	11月24日～30日	現場(職場)実習																																												
	帝京学園短期大学	1人	11月30日～12月18日	資格取得実習																																												
	わかば支援学校	3人	12月7日～11日	現場(職場)実習																																												
	帝京学園短期大学	1人	2月24日～3月18日	資格取得実習																																												
受入者数		計12人																																														

前項同	<p>公益的な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設貸出状況：あけぼの医療福祉センター 2回（南側駐車場 研修会等） ○ 地元老人会への施設案内他（スポーツ交流等）中止 ○ 地元中学生への施設業務の説明会（福祉の仕事体験）中止 																																																
施設の適正かつ効率的な維持管理	<p>施設管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の保守管理に万全を期するとともに、安全・快適な環境を維持し利用者サービスの向上を図った。また、老朽化の著しい設備・備品等については適切な施設の維持管理を継続するため、次のとおり必要な改善を行った。 ○ 建築設備、ボイラー設備、電気設備、消防設備、地下灯油タンク、水回りなどの定期点検を専門業者に委託するとともに、自己点検を実施した。また照明設備、備品、植栽、車両、施設周辺の点検及び清掃などを行い、安全で安心な居住空間の確保に留意した。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 75%;">給湯ボイラ内部洗浄作業</td> <td style="width: 20%;">令和2年 4月23日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>送迎車両トヨタ・ノアフロントガラス交換</td> <td>令和2年 5月12日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>施設不動産鑑定士現地調査実施</td> <td>令和2年 5月14日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Hブロック利用者用洗濯機更新</td> <td>令和2年 6月 2日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Yブロック区画漏電修理</td> <td>令和2年 6月20～24日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>いすゞトラッククラッチオーバーホール</td> <td>令和2年 6月29日</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>男性トイレ跳ね上げ式手すり交換工事</td> <td>令和2年 7月10日</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>男性トイレウォシュレット交換工事2基</td> <td>令和2年 7月23日</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>避難誘導灯交換工事計14カ所</td> <td>令和2年 9月14～23日</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>抗菌済食堂テーブル25脚更新（コロナ対策）</td> <td>令和2年 12月 9日</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>機械浴用セパレートキャリア追加購入</td> <td>令和2年 12月15日</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>自動火災報知設備更新（県営繕工事）</td> <td>令和3年 2月 8～24日</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>多機能型簡易居室8坪型設置（コロナ対策）</td> <td>令和3年 2月12日</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>浴室内段差解消工事（コンクリートスロープ）</td> <td>令和3年 2月13日</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>多機能型簡易居室4坪型設置（コロナ対策）</td> <td>令和3年 3月10日</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>送迎車両トヨタ・ノア スロープタイプ納車</td> <td>令和3年 3月12日</td> </tr> </table>	1	給湯ボイラ内部洗浄作業	令和2年 4月23日	2	送迎車両トヨタ・ノアフロントガラス交換	令和2年 5月12日	3	施設不動産鑑定士現地調査実施	令和2年 5月14日	4	Hブロック利用者用洗濯機更新	令和2年 6月 2日	5	Yブロック区画漏電修理	令和2年 6月20～24日	6	いすゞトラッククラッチオーバーホール	令和2年 6月29日	7	男性トイレ跳ね上げ式手すり交換工事	令和2年 7月10日	8	男性トイレウォシュレット交換工事2基	令和2年 7月23日	9	避難誘導灯交換工事計14カ所	令和2年 9月14～23日	10	抗菌済食堂テーブル25脚更新（コロナ対策）	令和2年 12月 9日	11	機械浴用セパレートキャリア追加購入	令和2年 12月15日	12	自動火災報知設備更新（県営繕工事）	令和3年 2月 8～24日	13	多機能型簡易居室8坪型設置（コロナ対策）	令和3年 2月12日	14	浴室内段差解消工事（コンクリートスロープ）	令和3年 2月13日	15	多機能型簡易居室4坪型設置（コロナ対策）	令和3年 3月10日	16	送迎車両トヨタ・ノア スロープタイプ納車	令和3年 3月12日
	1	給湯ボイラ内部洗浄作業	令和2年 4月23日																																															
	2	送迎車両トヨタ・ノアフロントガラス交換	令和2年 5月12日																																															
3	施設不動産鑑定士現地調査実施	令和2年 5月14日																																																
4	Hブロック利用者用洗濯機更新	令和2年 6月 2日																																																
5	Yブロック区画漏電修理	令和2年 6月20～24日																																																
6	いすゞトラッククラッチオーバーホール	令和2年 6月29日																																																
7	男性トイレ跳ね上げ式手すり交換工事	令和2年 7月10日																																																
8	男性トイレウォシュレット交換工事2基	令和2年 7月23日																																																
9	避難誘導灯交換工事計14カ所	令和2年 9月14～23日																																																
10	抗菌済食堂テーブル25脚更新（コロナ対策）	令和2年 12月 9日																																																
11	機械浴用セパレートキャリア追加購入	令和2年 12月15日																																																
12	自動火災報知設備更新（県営繕工事）	令和3年 2月 8～24日																																																
13	多機能型簡易居室8坪型設置（コロナ対策）	令和3年 2月12日																																																
14	浴室内段差解消工事（コンクリートスロープ）	令和3年 2月13日																																																
15	多機能型簡易居室4坪型設置（コロナ対策）	令和3年 3月10日																																																
16	送迎車両トヨタ・ノア スロープタイプ納車	令和3年 3月12日																																																
<p>衛生管理</p>	<p>利用者には、生活の場としての意識づけを持たせる中、シーツ、カバー類の交換や居室の清掃などを職員と行う機会を持つとともに、オムツの供給、汚物処理、ごみ処理などは専門業者と連絡を密にしながら適切な処理を行った。また、浴槽のレジオネラ菌の発生防止や水質管理についても、専門業者に衛生管理を委託するなど生活環境の向上を図った。</p>																																																	
<p>健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持・増進のため、異常の早期発見に努め必要な受診を支援した。 ○ 個人の残存機能を見極め、機能維持できるよう支援した。 ○ 適切な治療が継続できるように服薬管理・服薬支援を行った。 ○ 今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策で手洗い・消毒・マスク着用等を徹底したので、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の発生はなかった。 ○ 血圧・体重測定で体調の変化を把握し、適切な指導・助言を行った。 ○ 皮膚トラブルの予防や軽減のために、爪切り支援や軟膏塗布を支援した。 <p style="text-align: right;">【別紙⑤ 医務実施状況】</p>																																																	
<p>食事支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「楽しくバランスよく食べる」を給食管理の基本として、健康生活の源となる食事支援を行った。 ○ 疾病及び障害の程度や年齢など、身体状況の個人差が大きいため、各個人に適した食事の提供が行えるよう配慮した。また、食事摂取が速い利用者も見られるため、咀嚼等に気をつけ、ゆっくり摂取するよう声かけ支援を行った。 ○ 毎食、肉や魚、パンや麺等好みの料理が選べるセレクトメニューを実施した。また、バーベキューなど食事を伴う施設行事等も予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できず、時期を延期して豪華弁当を提供し喜ばれた。 ○ 食事を美味しく咀嚼していただくように、自助具の工夫をした。 ○ 年4回開催した給食委員会には、利用者と調理員も参加し、日々の食事内容や環境についての意見や要望が出され、給食に反映した。 <p style="text-align: right;">【別紙⑥ 給食実施状況】</p>																																																	

苦情解決体制等	苦情解決体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者が施設で提供している福祉サービスに対し苦情はないか、また苦情の申し出方法についての認識度や環境等が整っているか常に把握し、提供する福祉サービスの質向上を図った。 ▽ 苦情受付件数(総数) 4件 ▽ 苦情の内容(ア)と解決状況(イ) ア：①同室利用者が就寝時間帯にテレビ、ラジオ、独り言等騒音で眠れない。 ②給食を食べると体調不良となる。食材の納入業者が原因ではないか。 ③給食時のほうじ茶を飲むと体調不良になる。 ④工賃が減給されると聞いたが、訓練給付金をもらえないか。 イ：①職員の注意では改善されず、部屋替えを行い睡眠がとれる環境とした。 ②③他者から同様の訴えはなく、衛生面には特に注意していることを伝え何か体調に変化等があった時は相談に応じることを約束し安心された。 ④給付金は工賃として支給できないこと、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受注量が減少していること、できるだけ安定した作業が提供できるよう努力すると説明し納得された。 ▽ 第三者委員への報告 令和2年5月22日(令和元年度分)に第三者委員会を開催した。
	相談支援	<p>新型コロナウイルス感染拡大で外出・外泊・面会等の制約やマスク着用などの行動制限が課せられ、精神的なストレスが言動となって現れる利用者が見受けられる中、少しでも快適な生活が営められるよう、日頃から悩みや要望を受入れられるようきめ細かい対応に配慮した。</p>
	利用者満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年、9月と3月の年2回、利用者満足度調査を実施し、利用者の要望等を把握してサービス向上に繋げている。年度を通じて利用者の出入りがあることから、前回調査等との比較検証は難しい面があるが、全般を通して作業内容や人間関係に関する要望等が多く、危険性があるような場合には、安全管理委員会に問題提起するなど、業務改善に取り組んだ。 ○ 自らのサービス内容の妥当性を評価し、問題を早期に発見し改善するため、自己評価を1月に実施し、ホームページに掲載するとともに、課題や改善点の明確化に取り組んだ。
事業所の平等な利用の確保	施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設ホームページの更新と活用により、施設利用を促進させると同時に、施設事業の実施状況をリアルタイムに発信した。 ○ 利用契約の際、利用者及び家族に対し当該事業の基本方針及び支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた計画に基づいた支援を行った。 ○ 利用者の健康管理及び身体機能の維持・向上を目的として、看護師と作業療法士を中心に支援の充実に努めた。 ○ 施設事業の内容について、全体集会やオリエンテーション等で利用者への説明を行い、利用者の意向が反映できるよう支援を行った。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、家族等に複数回情報を提供しながら、面会や外出について理解と協力を求めた。 <p style="text-align: right;">【別紙⑦ 事業実施状況】</p>
	個人情報の保護	<p>協会の定める個人情報保護規程に基づく「個人情報保護マニュアル」の周知・徹底を促し、利用者個人との接し方から外部来所者との関わりまで、職員の意識を高める取り組みを行った。また、利用者の個人情報を取り扱うことに対して、同意を得るための同意書確認を実施した。</p>
次項同	職員確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新採用職員1名を迎え、職場定着を図る上から各課にOJT機能を充実させ、新任職員の適切な研修の実施と育成を目指した。また、新たに主査クラスの職員に対し、「リーダー」呼称を復活させて責任感の向上を図った。 ○ 6月からの産休・育休職員に対して代替職員を確保し、業務遂行に支障をなくすとともに、女性職員の上位促進と働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。 ○ 法人の非常勤職員の正規職員登用制度導入を踏まえ、非常勤職員へのきめ細かい働きかけを行い、1名の正規登用が実現した。

安定的な施設運営のための人的確保	職員研修	<p>福祉サービスの基盤である人材の育成と確保、さらには社会福祉法人の経営能力の向上が重要であることから、必要な研修会等に積極的に参加した。</p> <p>また、職員間での情報共有とスキルアップを図るため、研修参加者からの復命研修を計画的に実施した。</p>			
		<外部研修>			
		開催期間	研修会名	場所	参加者
		7月8日	OJTリーダー研修	甲府市	支援員
		7月21日	モチベーションアップ研修	甲府市	支援員
		8月31日	国勢調査員説明会	韮崎市	支援員
		9月10日	救命救急講習	甲府市	支援員2名
		10月5日	障害者虐待防止・権利擁護基礎研修	甲府市	支援員
		10月31日	精神障害者の障害特性と支援方法を学ぶ基礎研修	甲府市	相談支援専門員
		11月7日	就業支援実践研修	甲府市	支援員
		11月16日	精神障害者等社会適応訓練事業研修会	韮崎市	支援員
		11月18日	サービス管理責任者更新研修	甲府市	支援員
		11月20日	発達障害者就労支援研修	甲府市	支援員
		11月26～28日	会計実務中級コース研修	リモート	事務員
		12月15日	職員育成・組織力向上研修	甲府市	支援課長
		1月8日	安全運転管理者講習会	甲斐市	管理課長
		<法人研修>			
		10月27日	障害者虐待防止・権利擁護研修	施設内	全職員
		※密集を避けるため、合同ではなく施設単位で実施			
		<所内研修>			
6月23日	利用者介護技術研修	施設内	全職員		
12月22日	不審者対応訓練 防犯設備・備品等操作確認	施設内	全職員		
保険加入	賠償責任保険	<p>施設や業務に起因する様々な損害賠償リスクをカバーするとともに、自動車の使用や管理に関する事故に備え、次のとおり保険に加入した。</p>			
		<p>施設賠償責任保険 対人賠償 1名につき 1億円 1事故につき 7億円 対物賠償 1事故につき 1千万円</p> <p>自動車保険 対人賠償 無制限 対物賠償 1千万円</p>			